

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11)特許番号

特許第3401433号  
(P3401433)

(45)発行日 平成15年4月28日(2003.4.28)

(24)登録日 平成15年2月21日(2003.2.21)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I
C 0 2 F 1/50	5 5 0 5 3 1	C 0 2 F 1/50 5 5 0 D 5 3 1 R
C 0 1 B 13/11		C 0 1 B 13/11 E
C 0 2 F 1/58		C 0 2 F 1/58 H

請求項の数1(全 9 頁)

(21)出願番号	特願平10-155680	(73)特許権者	501427489 株式会社マサキ 大阪府大阪市中央区谷町5丁目3番17号
(22)出願日	平成10年6月4日(1998.6.4)	(72)発明者	田村 耕三 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式 会社タムラテコ内
(65)公開番号	特開平11-347567	(72)発明者	戎脇 登 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式 会社タムラテコ内
(43)公開日	平成11年12月21日(1999.12.21)	(74)代理人	100080746 弁理士 中谷 武嗣
審査請求日	平成12年3月15日(2000.3.15)	審査官	真々田 忠博
前置審査			

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 殺菌水発生装置

1

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 オゾン発生体1と、該オゾン発生体1にて生成されたオゾンを水道栓84から供給される水に混合溶存させてオゾンガス混合水を生成する混合器2と、該混合器2にて生成されたオゾンガス混合水から余分なオゾンガスを分離する気水分離室部95とを備え、  
 上記オゾン発生体1は、高圧側電極端子10aが固着される円筒状の内筒体5と該内筒体5に外嵌されると共に低圧側電極10bが外面に接続される円筒状の外筒体6とを備え、該内外筒体5、6の間に断面円環状の放電空間7  
 を形成し、上記外筒体6の上端が蓋部14にて閉鎖され、上記内筒体5内を上方に流れるエアは、上記蓋部14にてUターンし、上記放電空間7を下方に流れてオゾンを生成し、  
 上記オゾン発生体1にて生成されるオゾンを、上記混合

2

器2にて水と混合溶存させ、上記気水分離室部95にて余剰オゾンガスを分離して、オゾン水を発生する共通ベース流路E。の下流側でかつ外箱81の内部に、切換バルブ61を設けて、第1流路E<sub>1</sub>と第2流路E<sub>2</sub>に分岐し、かつ、上記外箱81の正面に、オゾン水吐出部82とオゾン殺菌浄水吐出部83とを独立して配設すると共に上記切換バルブ61を切換える切換ツマミ86を付設し、上記第1流路E<sub>1</sub>を該オゾン水吐出部82に連通連結し、他方、上記第2流路E<sub>2</sub>の途中にオゾン分解処理室4を介設してオゾン水中のオゾンを分解してオゾン殺菌浄水としてから上記オゾン殺菌浄水吐出部83に該浄水を送るように連通連結し、上記切換ツマミ86の回転操作による上記切換バルブ61の切換えにてオゾン水吐出と浄水吐出に択一的に切換自在とし、  
 さらに、上記外箱81の正面に付設された操作パネル部12